

防災対策

優先箇所と実行計画は

8河川の河床掘削を予定



やまざき まさお
山崎 正男 議員

問 行政は地域住民の要望を踏まえ、どのような方策を考えているか。また、認識している優先すべき防災箇所と今後の実行計画を伺う。

答 徳廣 情報防災課長
今年度中に土砂災害の要綱を制定するよう事務処理を進めている。

今年度は佐賀、大方各2カ所の土砂災害の取り組みを進めている。

答 森田 建設課長
堆積土砂の取り除きは、優先順位の検討後、対応をしている。

県は昨年度、蛸瀬川や伊与木川など10河川に事業費約2億4600万円を計上し、掘削土量3万7500m³を撤去している。

本年度は、伊与木川他8河川の河床掘削を予定している。

漁業振興

漁業者との対話が必要では
現状を把握し進める

問 行政は漁業関係者の意思をよく知ることが大事だと考える。漁業者の悩みを聞くには対話が必須ではないか。

答 今西 海洋森林課長
担当係が月2回以上の現地での目視点検等を行い、可能な限り漁業関係

者との対話等を行い全般の聞き取りを行っている。町管理漁港は、県漁協各支所長と地区委員より要望等を聞き取り、施設整備を進めている。

佐賀漁港全体の施設補強等も、平成21年度より全体の機能保全計画を県が策定し、毎年実施している。

今後、積極的に現場に出向き、状況を把握して地元漁協関係者と率直に会話を行って漁港の整備事業を進めていきたい。



現在の佐賀漁港

津波対策

高台移転の構想は
条件が整えば推進

問 佐賀地区の高台移転構想を考えるべきではないか。

答 西村 企画調整室長
課題解消に向けた条件整備が整えば、その段階で計画的に推進していきたい。



被災前の高台整備が望まれる（佐賀地区）

コロナ対策

ワクチン接種
安心な説明を
集団接種は
予約券で確認

問 ワクチン接種の時期と場所を町民にもっと詳しく知らせて安心させるべきではないか。

答 佐田 健康福祉課長
高齢者の集団接種は、6月、7月の土、日曜日を中心に集中して接種出来るよう日程調整をした。6月中には予約券が届くので、その券にて日時接種場所等の確認をお願いしたい。

高齢者への集団接種が終了すれば、65歳未満の町民への接種を開始する。